

今月の便り

北国の薔薇

見事な花姿と香り、見る人に感動を与える薔薇の季節です。長い冬から僅か3ヶ月でいわみざわ公園バラ園の広大な園内は華やかで色鮮やかな薔薇たちの競演まっ盛りです。ご自宅のお庭でも、薔薇の街岩見沢では薔薇が多く植栽されています。進化を続けるバラの花、続々と新品種が生まれています。耐病性と香り、見た目良しが人気です。さらに北国で育てやすい薔薇を追求される熱心な方もいます。イギリスの薔薇、フランスの薔薇、ドイツの薔薇そして日本の薔薇の四季咲きで豊かな色彩を持ち香り高い薔薇が人気です。なんと、贅沢な要望を全て持ち合わせている薔薇を求めてロザリアンの皆様は奔走されている様子です。今年もおしゃれな薔薇との出会いに胸をときめかせ、バラ園にお出かけ下さい。そしてボランティアをしながら薔薇のお勉強もすると薔薇の秘密を知る事が出来るでしょう（たかはし）

キュウリ苗の選び方

夏野菜の一つ「キュウリ」は、採れたてがおいしく家庭菜園でも人気の野菜。どんなキュウリを植えるか、次のことを考えて決めたことはありますか。キュウリには「節成りタイプ」と「とび節成りタイプ」「中間型」があります。収穫のタイミングや収穫量が異なりますが、栽培方法には違いがないので、好みで選んでください。節成りタイプは、すべての節ごとに雌花が付いて実がなります。早くたくさん収穫したい方にお勧めしますが、株が疲れやすくあまり長持ちがしないので、水と肥料を切らさないようにすることがポイントです。とび節成りタイプは、各節でなく飛び飛びの節に雌花がついて、実がなります。親ヅルよりも子ヅルに沢山実が付くので最初の収穫は遅れますが、長期間の収穫が楽しめ、最終的には節成りタイプより収穫量が多くなります。その他に、節成りととび節成り双方の遺伝子を持って親ヅル・小ヅル・孫ヅルにも成るタイプと、地面に這わせて成長させる「地這いキュウリ」があり、暑さに強く、ほったらかしでも良く育ちますが、親ヅルにはほとんど花を付けず子ヅルや孫ヅルに花をつけるため収穫が遅れます。また、広めのスペースが必要です。初心者にお勧めの苗は、接ぎ木の苗で苗購入時は少し高いですが、病気や連作に強く生育旺盛です。定植時期は5月中旬から6月初旬で、6月初旬から7月には収穫可能となります。（ながやす）

ガーデニングと雑草魂

一般に「雑草」と呼ばれるものは、「抜いても踏んでも生えてくる」のが特徴です。これを人間に例えるとすれば、「叩かれても叩かれても不屈の魂で立ち上がる」まさに『ヒーロー』の性格です。一方、園芸品種は程度の差こそあれ大事に育てて初めて美しく咲き誇る「深窓の令嬢」のようなもの。しかし園芸品種は繊細な性質のものだけではなく、雑草のような強い性質をもつものもあるのでそちらと仲良くできたら庭作りも楽になるように思います。特に60歳以上が増えてきたガーデナーの皆さんは、北海道の庭に植えても勝手に増える強い性質の宿根草を庭の骨格に使うのも良い方法です。栽培のコツは雪解け後にぐんぐん育つ段階で少し枝を間引いたり株周りの増えた部分を削ること。いつもスッキリ保てます。また、本当の雑草は種子が付く前に刈り取ります。あまりに多くて大変な時はとりあえず花穂だけ刈り取って余裕のある時にしっかりと除草しましょう。雨が降って土が湿っている日は固い地面のところも草が抜きやすくなっています。元気な人も疲れやすくなってきた人も自分のペースでストレスなく生涯ガーデニングを楽しめたら良いのかなと思います。（きのした）

バシクルモン

バシクルモンはおよそ植物とは思えない名前です。まるでウルトラマンの怪獣の名前みたいですよね。その由来はアイヌ語で「パスクル (=カラス)」「ムム (=草)」からきているようですが何故この植物が「カラスの草」なのかは不明だとか。「カラスの草」の意味を知りたいものです。別名をオシヨロソウと言い、小樽の忍路(おしよろ)海岸で最初に発見されたからだそうです。渡島、後志、石狩、胆振、留萌、網走、青森県と新潟県の日本海側の海岸の岩場や内陸沢沿いの岩場などに局地的に分布します。キョウチクトウ科の高さ 40 ~ 80cm の多年草で、6月末から 7 月に 1センチに満たない淡い紅紫色の花を赤い茎のてっぺんにたくさんつけます。本来の木のキョウチクトウには強い毒性がありますがバシクルモンもまた弱い毒性があるそうです。(いとう)

初夏の花木と施肥の基本

今月は北国も本格的な夏を迎え、初夏を彩る花木アジサイとノリウツギの仲間が開花し始めます。涼しげな白、青紫系の各種アジサイ、ガクアジサイ、ヤマアジサイ、アマチャのほか一般家庭の庭や鉢で楽しめる小型の園芸品種があります。また道内の各地の野山に自生しているノリウツギもよく知られています。この仲間として花穂が垂れ下がりづらいもの、開花終盤に赤み帯びる園芸品種に人気が集まっています。白花のアメリカノリノキの一種「アナベル」も知られていますが、大株になるため狭い庭にはお勧めできません。高価ながら赤花の園芸品種も市販されている様です。春の花木の大半は、この時期に翌年の開花の元となる組織が作られます。これを花芽分化といいます。一見して花芽とわからないものもあるので、誤って切り落とさない様、早めに剪定するよう心がけます。今月下旬に施肥をする場合、リン酸、カリ分は別として、越冬に影響しそうな窒素分は控えめに。(かわはら)

春雨とビーフンの違いは…？

春雨とビーフンどちらも中国発祥の食品です。どちらも形状や色は似ていますが違いは原料です。ジャガイモ、サツマイモのデンプンを原料とした春雨は、モチモチした食感で、緑豆やエンドウ豆のデンプンを原料とした春雨は、コリコリして歯ごたえがあります。

春雨の作り方は、デンプンに水を混ぜて、細い麺状にして熱湯で茹で、その後冷凍・乾燥をして、使いやすい長さカットして販売されています。ビーフンの原料は、うるち米の米粉のデンプンです。米粉を音読みすると、ビーフンと聞こえませんか？ ちょっと無理かもしれませんが嘘のような本当の話です。

現在は、うるち米のデンプン 100%でなく、調理しやすいようにコーンスターチなどほかのデンプンも配合して改良されています。



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第九十三回

ガリカローズ

デュシェス ド アングレーム

Duchesse d' Angouleme

作出国：フランス

作出者：Vibert

作出年：1821年

ハーディネスゾーン：Z4

一季咲き

交配：不明

デュシェス ド アングレームは、なんとも表現しがたい美しいピンク色のオールドローズです。色の分類としてはソフトピンクやライトピンクになるのですが、ほんのり青みが入り透明感を際立たせ、絶妙な色合いです。花は八重咲きの花径7cmほどの中大輪。蕊を抱えるように開くカップ咲きで、蕊が見え隠れするのが非常にかわいらしく、またうつむき加減に花をつける姿にひたむきさを感じて惹かれます。まるで繊細な工芸品を見ているような気持ちになり、ついうっとりしてしまいます。別名‘Wax Rose (ロウのバラ)’と呼ばれるのもうなずけますね。一季咲きですが、秋にローズヒップが実っていた覚えはありません。香りは甘く強香とありますが、実際に嗅いでみるとワイルドな青みのある香りに、甘さをまとった奥深い香りがしました。香水や化粧品に使われるダマスクローズとはまた一味違った、ガリカローズならではの香りといったところでしょうか。樹高100～150cm・幅90cm程度とオールドローズにしてはややコンパクトですが、自然樹形なのでおらかな枝ぶりが結構広がっているように見えます。耐寒性もあり樹勢もそこそこののでローメンテで育てられます。難しい剪定も必要ありません。

名前を直訳すると『アングレーム公爵夫人』です。フランス王太子アングレーム公爵(ルイ・アントワヌ)の妻であり、フランス国王ルイ16世と王妃マリー・アントワネットの娘マリー・テレーズにあたります。彼女は少女時代にフランス革命下において、家族らとともに軟禁され、父母が処刑された後、2年間ほど幽閉されます。その後オーストリアへ亡命し各地を転々とし、ナポレオンの敗戦を機にフランスへ戻り、復古王政期にブルボン家の復興に尽力しました。その後7月革命により亡命生活になるのですが…かなりハードな生涯ですね。そんなお方に名前を冠したバラを捧げたのが作出者のVibert氏です。実はマリー・テレーズが目の敵にしていたナポレオン軍の元兵士なのです。贈る側は純粋な愛国心だったかもしれませんが、贈られる側の気持ちは…ちょっと想像が付きませんね(汗)Vibert氏のナポレオン愛については過去のひとつきひとばら‘エメヴィヴェル’の回をご参照くださいね…

関連文献*いわみざわ公園室内公園「色彩館」・緑の相談コーナーだより No.401-2018.11.1 発行『ひとつきひとばら 第五十五回 エメヴィヴェル』<https://iwamizawa-park.com/indoor-garden/soudan/otayori/>

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 7月10日(日)・17日(日) 10:00~ バラ管理スタッフのローズツアー
料金:無料 定員:18名 講師:バラ園スタッフ
- 7月16日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑤夏越しと秋バラに向けての準備
料金:無料 定員:18名 講師:古舘 杏奈さん ローズグロウワ
- 7月18日(祝月) 13:00~15:00 盆栽作りの楽しさ
料金:無料 定員:18名 講師:桑内 彦さん 岩見沢樹石会
場所:旧緑のセンター

~8月1日から受付開始~

- 8月6日(土) 13:00~15:00 ミニ盆栽を仕立てよう
料金:2,000円 定員:18名 講師:君島 信博さん 草つ月
- 8月28日(日) 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理
料金:無料 定員:18名 講師:川原 元信さん フラワーマスター

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方 × 37.0℃以上の熱がある方
上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・定員制限を設けているため、定員に達してしまいお申込みを受け付けられないことが頻繁にあります。連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避ける為、各講座の定員につきましては予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。